

もってよかった
世界遺産検定！文部科学省後援
世界遺産検定
SEKAKEN

認定者の声

先輩たちが語る
受検のきっかけ
勉強して得たもの
就職活動とこれからのこと就職活動で積極性と行動力を
アピールできました青山学院大学
社会情報学部
社会情報学科
4年
根岸 夕夏さん
(旅行業界内定)

面接では世界遺産検定を受検した理由や、勉強で苦労したことなどを聞かれました。受検理由は「旅行会社で働く上で、世界遺産の知識は様々な分野で活かせるから」と答えました。旅行会社で働くために積極的に行動を取ったということをおアピールできたと思います。

「学生時代に取り組んだこと」
をしっかりと答えられました法政大学
国際文化学部
国際文化学科
4年
熱田 奈々さん
(物流業界内定)

世界遺産を通じて他国の歴史を知ること、海外ニュースも自分の生きている世界のこと、身近に感じるようになりました。就職活動では「どんな検定」「お勧めの遺産は」などと聞かれ、世界遺産検定という学生時代に取り組んだことをしっかりと答える事ができました。自己PRにつながったと思います。

国籍や文化を超えた
コミュニケーションが可能に明治大学
商学部
商学科
4年
村石 雅貴さん
(金融業界内定)

世界遺産を勉強することで、訪問することがない国やなじみのない国の文化や歴史、風土を理解することができました。これによって国籍、人種、文化を超えたコミュニケーションが取れるようになりました。これからも世界遺産を通じて世界中の人とコミュニケーション取りたいと思っています。

刺激的な学習体験
世界を知れば日本がより見える中央大学
法学部
政治学科
4年
稲村 行真さん
(起業予定)

検定の学習をつうじて、世界各地の固有の文化・風景に触れるのは興味深かったです。また世界でも際立った独自性をもつ日本の文化を、世界遺産を学ぶことでより深く知ることができました。若者が日本の文化に誇りをもてるようにしたいという僕の夢の実現に、世界遺産の知識が役立つと確信しています。

就職活動で自ら調べることが
できる人物と評価されました日本大学
文理学部
地理学科
4年
人見 城さん
(不動産業界内定)

就職活動の面接でなぜ世界遺産検定を受検したのかと聞かれました。「どうしてこの建物は壊れているのか、どうして地層が幾重にも重なっているのかと疑問に思ったから」と伝えたと、様々なことに興味・関心を持ち、疑問を抱き、自ら調べることができる人物だという評価を受けました。

危機遺産を知ったことが
今の私につながっています東洋大学
国際地域学部
国際観光学科
4年
金子 みなみさん
(旅行業界内定)

検定の勉強の中で危機遺産の存在を知り、環境と観光の関わりに興味をもちました。パラオでのインターン経験、そして内定をいただいたことの大元には世界遺産検定があります。学んだ知識を活かし、他の世界遺産との比較を交えながら、パラオのすばらしさを伝えていきたいです。

知識があると旅行がさらに
楽しくなるとおもいますフェリス学院
国際交流学部
国際交流学科
4年
小野田 真那さん
(航空業界内定)

世界遺産検定を知ったきっかけと受検の理由は、世界遺産検定のスタッフの方がゲストでいらしたときに、検定の内容を詳しく知ったからです。もともと、旅行が大好きだったので、旅先で訪れた場所の知識が豊富な方がさらに旅行が楽しくなると思い、受検しました。実際に知識をつけた後で世界遺産を訪れると、見方が変わっていました。

興味ある分野の話題が増え
面接で楽しく話ができました獨協大学
外国語学部
交流文化学科
4年
関 恵美さん
(小売業界内定)

面接では、「世界遺産検定を取得しているんだ。何か僕たちをアツと言わせるようなことを教えてよ」などと言われることがあり、興味がある分野について、楽しく話すことができました。チャレンジ精神があることなど、自分をアピールできる良いきっかけになったと思います。

世界のこともっと知りたいと
意欲が湧くようになりました東海大学
観光学部
観光学科
4年
飯島 滉洋さん
(航空業界内定)

世界遺産を学んだことで、勉強した地域や建造物がニュースに出ると親近感が湧き、そのニュースを知ろうという意欲が湧くようになりました。旅行で実際に世界遺産を訪れるときは予習をするようになり、実際に現地に行くと勉強した分だけ旅行が楽しくなりました。

認定者の声

世界遺産学習を通じて自分の進路を決定！



明治大学
国際日本学部
国際日本学科
4年
嵐 祥希さん
(旅行業界内定)



世界遺産検定を受検したことが観光業界を目指すきっかけとなりました。世界遺産の学びを通じて、観光は人を幸せにすることができると感じました。今後は仕事を通じて様々な方と関わることが多くなるので、コミュニケーションに世界遺産の知識を活かしていきたいです。

世界遺産を勉強することは平和教育に繋がると思います



亜細亜大学
経営学部
ホスピタリティ・
マネジメント学科
4年
岡部 菜摘さん
(旅行業界内定)



人と文明が創りあげてきたこの世界に関して、多くのことを世界遺産は語ってくれます。とくに「負の遺産」について学ぶことで過去の人間が犯した過ちを知り、平和の大切さをあらためて実感することができます。世界遺産を勉強することは平和教育に繋がると思っています。

満点を取れるまで過去問を繰り返し解きました



文教大学
国際学部
国際観光学科
4年
上田 悟さん
(旅行業界内定)



小さい頃から世界遺産に興味があり、高校時代に3級、大学時代に2級を取りました。勉強を始めたのは試験の3か月前くらいで、満点が取れるように過去問を繰り返し解きました。もちろんテキストも通学時に読んでいました。過去問は傾向を把握するためにいいと思います。

「仕事に就くうえで役に立つ」と思い受検に挑みました



相模女子大学
学芸学部
英語文化コミュニケーション学科
4年
ゲンチャン アンティさん
(航空業界内定)



世界遺産検定を知ったきっかけは、1年生の頃の講義で先生がお勧めしてくれたことでした。歴史的建造物、美しい風景や歴史を知ることが好きなので、受検しようと思えました。また、航空業界を目指すうえで、世界遺産の知識があれば仕事に就く際に役立つのではないかともしました。

得た知識をゼミにも活用自分自身の成長を実感



拓殖大学
商学部
国際ビジネス学科
4年
半田 幹生さん
(鉄道業界内定)



受検を通して、何事に対しても広い視野をもって取り組む意識が生まれたと思います。得た知識をゼミなどに活かすことができ、自分自身の成長につながりました。検定の取得については、必ずエントリーシートに記入していましたが、業界関係を問わず興味を持って下さる面接官が多かったです。

複雑な世界情勢を深く見ることができるようになりました



東京家政大学
人文学部
英語コミュニケーション学科
4年
RNさん
(旅行業界内定)



世界遺産を勉強していくうちに、「この遺産のある国はどの国だろうか？」とどんどん関心事が増えていき楽しかったです。また、世界遺産を通じてイスラム教やキリスト教などについての理解も深まったことで、複雑な世界情勢をより深く見ることができるようになりました。

より深く知りたくて1級を受検面接でも話が広がりました



跡見学園女子大学
マネジメント学部
観光マネジメント学科
4年
井野 若桜さん
(物流業界内定)



もともと世界史や地理が好きで、世界遺産検定の広告に過去に出題された問題がいくつか掲載されていたのを見て、おもしろそうだかと受検を決意。2級合格後、もっと深く知りたくて1級に挑戦しました。就活の履歴書には業界に関わらず記入し、面接では検定をきっかけに話が広がることもありました。

他の資格に比べ短期間でストレスなく学習できました



明海大学
ホスピタリティ・ツーリズム学部
ホスピタリティ・ツーリズム学科
4年
S.Nさん
(旅行業界内定)



テレビ番組で俳優さんが話していて世界遺産検定について知りました。受検のきっかけは、合格すれば大学の授業単位を取ることができ、さらに旅行会社で就活する際に資格欄を埋められると思ったからです。他の資格試験に比べて短期間でストレスなく学習できたのも良かったです。

公務員試験の時事問題で出題面接も世界遺産でアピール



神戸海星女子学院大学
現代人間学部
英語観光学科
4年
豊川 円香さん
(国家公務員試験合格)



国家公務員試験の時事問題で世界遺産は頻出のテーマです。検定で得た学びのおかげで貴重な1点を得ることができました。面接カードに世界遺産検定について書いたところ、おすすめの世界遺産を聞かれましたが、一般に知られていないポイントを交えて話すことで、プレゼン能力をアピールできました。

「大学生活で頑張ったこと」の記入欄に検定の話を書きました



名古屋学院大学
国際文化学部
国際協力学科
4年
鈴木 梨花子さん
(ブライダル業界内定)



就職活動では履歴書の資格欄には必ず記入し、大学生活で頑張ったことの記入欄にも世界遺産検定の話を書きました。面接では「行ってみたい世界遺産はどこ？」など、質問をされ話がとても弾みました。旅行する時は、勉強したことを知識で終わらせず実際に観光して訪れたいと思います。

世界遺産を学ぶことで得た姿勢を大切にしていきたい



北海学園大学
人文学部
英米文化学科
4年
加藤 太智さん
(小売・流通業界内定)



検定の勉強をして、「負の遺産」を学ぶと、華やかで偉大なイメージのあった世界遺産を見る角度が変わりました。世界遺産を通じて各国の背景や文化を知ろうとすることは、偏見を持たず、新しい価値観に触れていくことだと思えます。これからも、この姿勢を大切に価値観を更新していきたいです。